



写真:えびのエコミュージアムセンター付近(平成21年10月14日)

オスジカの鳴き声

秋は、ニホンジカの恋の季節。笛を吹くような鳴き声が風に乗って聞こえてきます。

リンドウの花が咲きはじめてまじった。えびの高原は初秋を迎えています。笛を吹くような鳴き声が風に乗って聞こえてきます。秋はニホンジカの恋の季節。これはオスの繁殖期特有の鳴き声です。オスジカは、特に夕方から夜にかけてよく鳴いています。

えびの高原で通年見られるのは、ほとんどがメスと子ジカの群れです。オスはオスだけの群れで生活しますが、繁殖期には一頭ずつに分かれてなわばりを作り、一夫多妻制のハレムを作ります。毎年秋になると、えびの高原には何頭ものオスジカが姿を現します。この時期のオスジカは立派な角を持ち、木にこすりつけたり、力比べをしたりします。木刀がぶつかるような音がして森の中を見ると、二頭のオスジカが激しく角を突き合わせていたこともあります。

徐々に寒くなる季節、山に響くオスジカの声はなんとなく切なく聞こえます。「奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の声聞くとときぞ秋はかなしき(猿丸太夫)」などの歌を思い出しながら、耳を澄まします。

(文/えびのエコミュージアムセンター)

ニホンジカ
Cervus nippon

偶蹄目シカ科 環境省選定「残したい」日本の音風景100選「えびの高原の野生シカ」